

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

## 令和3年度技術情報第4号（チャのチャノホソガ）について（送付）

チャのチャノホソガについて、フェロモントラップでの発蛾ピークが平年より早く、発生ほ場率も高く、今後の発生に注意が必要です。防除対策等を以下のとおりとりまとめましたので送付します。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（[www.jpnp.ne.jp/kagoshima](http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima)）にも掲載しています。



## 令和3年度技術情報第4号

1 対象病害虫 チャノホソガ

2 対象作物 チャ

## 3 発生状況等

(1) 南九州市知覧町に設置したフェロモントラップにおける越冬世代の発蛾ピークは、平年より10日程度早かった（図1）。

(2) 4月中旬に行った巡回調査での発生ほ場率は24%（平年6%）、 $m^2$ 当たり巻葉数は1.2葉（平年0.1葉）といずれも高かった（図2）。

## 4 防除上注意すべき事項

(1) 第一世代成虫の発生時期は5月上～中旬と予想されるので、この時期に二番茶の新芽生育期が重なる園や品種では、特に被害の発生に注意する。

(2) 薬剤による防除は二番茶及び三番茶の萌芽～1葉期に実施する。

(3) 萌芽～1葉期頃に葉裏への産卵や幼虫の潜葉を確認してから薬剤を散布すると効果的である。

(4) 二・三番茶期は、萌芽から摘採までの期間が短いので、薬剤の使用時期（摘採前日数）に注意する。

(5) IGR剤及びジアミド系薬剤に対する感受性が低下している地域があるので、地域の栽培暦に従って薬剤を選択する。

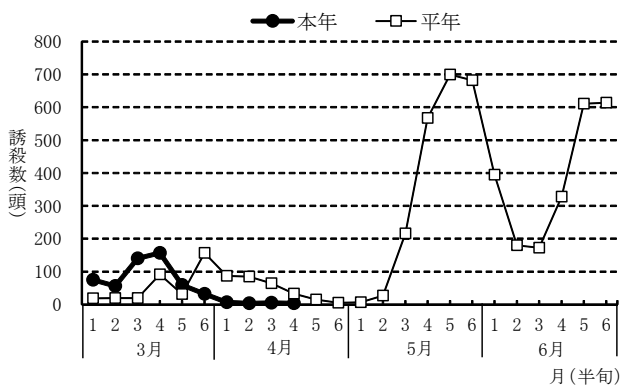
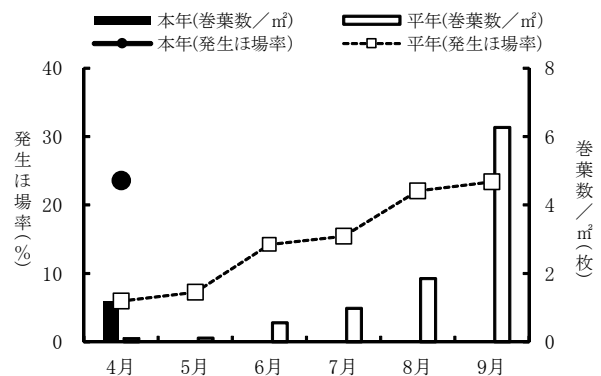


図1 知覧町におけるフェロモントラップ誘殺数

図2 チャノホソガの発生ほ場率と $m^2$ 当たり巻葉数